

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表 具志堅 隆松さんのお話しを聞く会

防衛省がこの4月に、公有水面埋立法に基づき、計画変更を沖縄県に申請した中で、埋め立てに使う土砂の採取地として、現行計画にない沖縄本島南部が追加されました。ご存知のように本島南部には、今でも多くの沖縄戦犠牲者の遺骨が残存しています。

戦没者の遺骨が混じった土砂を辺野古新基地建設に使うことは、死者への冒瀆です。戦争で亡くなった人の遺骨を土砂と一緒に軍事基地を造るための埋め立てに使わせてはなりません。

この度は、38年間、沖縄戦犠牲者の遺骨を収集されてきました沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんのお話しを現地沖縄から電話メッセージでいただきます。あわせて、辺野古新基地建設埋め立てに搬出されると噂されている「魂魄の塔」のとなり、「東京の塔」のうらの整地された土砂採取地の現場写真などを画像で写し出しながらかご説明を受けます。

ご参加をお願いいたします。

12月16日(水) 14:00~15:00

参議院議員会館 B101会議室

集会後、議員会館前で祈念行動

宗教者共同声明「戦没者の遺骨が混じった土砂を辺野古新基地建設に使わせてはなりません」の12月20日まで第2次集約を行っております。神父・牧師・僧侶などの聖職者の方々の賛同者・賛同団体を募っております。現在、賛同団体16団体、賛同者306名です。下記のファックスにお名前・肩書きを書いて送ってください。

☆コロナ対策を万全にしてお集まりください。

「平和をつくり出す宗教者ネット」事務局

連絡先 090-1853-1446 (武田)

ファックス 03-3461-9367